

Mother care サービス レポート

マザーケアサービスとは、ご利用者さまのご自宅へ、マザーネットのケアリストが
お伺いし、お子さまのケアや家事をさせていただくサービスです。

■ご利用例 vol.56

3才の男の子。月1回、お母様の残業日に18時から21時までチャイルドケアのご利用です。

ご利用者の声 さん

月初第4営業日だけでも残業したい

毎月5営業日目が月次決算の報告日なので、月初が忙しい職場です。保育所のお迎えに間に合わせるためには残業ができないので、休日出勤で対応してきましたが、「第4営業日だけでも残業できれば楽なのに…」と考え、ネットで「ベビーシッター 大阪 ワーキングマザー」を検索しました。そこで出てきたのがマザーネットです。急な依頼にもできるだけ対応していただけるところと、起業家ご自身がワーキングマザーという点が印象的でした。(現状は、毎月決まった1日2～3時間のみ利用。当初は「突発的な病気による欠勤」に備える意味もあったので、他の「ご利用の3日前までにご連絡ください」というようなサービスでは駄目でした)

一旦はファミリーサポートの利用も考えましたが、息子はやんちゃで調子のり。よそのお宅で過ごさせるのには不安がありました。2歳半を過ぎ、まったくの赤ちゃんではなくなっていたので、本人の不安を和らげる意味でも自宅と一緒に過ごしてもらう方が安心できました。

月1回だけの利用でお願いしていいのか少し不安でしたが、思い切って申込書をお送りしました。すぐにご連絡をいただいた上、「今からなら次の月初に間に合いますから！」と短い期間でケアリストOさんとの面談を設定していただきました。

何より息子と仲良くなって欲しくて

もともと保育士をされていたということで、はじめから安心してお任せしています。人一倍暴れる、しゃべる、食べる息子なので、何人も子どもを見てこられた方なら「こういう子もいるよね」とおらかな気持ちで見ていただけたかと(笑)。

まずはOさんと息子に仲良くなって欲しいと思ったので、

夕食は準備をして出かけています。来ていただくようになって1年が過ぎ、息子もすっかりなついています。帰宅後準備でばたばたするよりは、じっくり遊んでいただきたいので、今も食事は準備しています。記録書に「保育所から1時間近くかけて遊びながら帰ってきました」等と書いてあると、普段「はやく！いそいで！」と言いながら手をひっぱっている自分を反省しつつ、とても感謝しています。やはりおらかな気持ちで見ていただけています。

また、いつもケアを受けるに当たって心がけてしていることがあります。

- 月1回の利用なので、前日にFAXで最近の様子をお知らせするようにしています。「風邪気味です」とか「こんな遊びに夢中です」とか。
- 調理用具・食器・タオル・着替え・歯ブラシなど、当日使うものは一通り出しておきます。
- 「Oさんの時だけできること」を息子の楽しみにとつてあります。エレベーターの階数ボタンを押すことや、お風呂のあとの塗り薬を自分で塗ることなど。

「特別な人でなくても、仕事も子育てもやっていけるサンプルになる」という目標に向かって

ケアリストOさんに3回ほど来ていただいた頃だったと思います。「明日、お迎えOさんだからね」というと、「お母さんは？いつ帰ってくるの？」と急に不安そうな顔をしました。「お母さんは、のおくんがごはん食べてお風呂入ってお布団に入った頃に帰ってくるよ。ねんねはお母さんと一緒だから大丈夫！」と言うと少し安心した様子。「じゃあ、保育所から帰って、Oさんとごはん食べるん？」「そうよ、帰ってきたらまず何するの？」「おてて洗ってガラガラ(うがい)！」「そう、それから動物(のDVD)をすこーし見て、ごはん食べて、お薬飲んで、お風呂入って、ぶつぶつお薬(塗り薬)塗って、歯磨きして、お部屋で本読んでたらお母さん帰ってくるからね」と前日の会話終了。翌日、「次は何、その後は何、と全部自分で段取りしてたわ」とOさんに言われました。保育所の連絡ノートにも『今日はお迎えOさんやから、ごはん食べてお風呂入って歯を磨いたらお母さん帰ってくる!』と言ってましたと。母がいなから自分が仕切れないといけない、と思っていたのかも

しません。

職場では「育児をサポートする人に来てもらってるの!？」と驚かれます。私自身、自分のような普通の事務職で、そこまでするのはやりすぎ（贅沢？）なのかも、と時々思います。でも、『特別な人ではなくても、仕事も子育てもやっつけていけるサンプルになる』という目標のためにも、今後もケアリストさんの力を借りながら、頑張っていこうと思っています。

ケアリストの声 K. Oさん

喜んでいただけることを、がんばってやっていきたい

私が仕事をする時いつも心がけていること、大切にしたいと思っていることは、“ご利用者様が何を望んでいらっしゃるかをしっかりつかみ、その要求に一生懸命に応えて行くこと”です。

必要にせまられて依頼されたとは言え、見ず知らずの他人をおうちに入れるのは、大変なご心配もあると思います。しかし、Iさんのお宅では、当初から暖かく迎えて下さり、“おまかせします”という気持ちがずいぶん大きく感じられ、本当にありがたく思いました。喜んでいただけることを、がんばってやっていこうと、この時、思いました。

掃除を含めた家事全般も受けれますが、Iさんのお宅では、チャイルドケア中心でとのことでした。それならば・・・と、保育士としての経験上、長時間保育ですので、“早く”とか、“急いで”の言葉はできるだけやめて、時間の許すかぎり短い道のりでも、走ったり飛んだりかくれんぼしたり、スキンシップ中心で遊んでいます。そんな中で、彼が「こう言った」「こう怒った」「私がこうしたかった」と、その

日の様子を、できるだけ細かくお知らせするようにしています。「こんなおばちゃんもいるんだ」ということを感じてほしい。彼やお父さんお母さんにとって、彼が大きくなっていく、ほんのひとコマにでもなれたらいいな、と思って、がんばっています。

大人の私が癒されることばかりです

エレベーターの階段ボタンを押したり、お風呂のあと薬を塗ったりすることは、はじめはいたずらでやっていましたが、やり方を教えて、危ない時だけ手を出すようにしていると、本当に上手になってきて、そんな時は、「おにいちちゃんになったから、じょうずにできるで！Oさんみてみ！！」と、得意になって言ってくれます。そんなほころしげな顔を見ると思わず、カワイ〜！！

そんな私に、子どもながら、「シャンプーいややけど、がまんしとくわ。Oさんも大変やから」とか、「Oさん、前と靴ちがうで。ボクも新しい靴やで。一緒やなあ〜」なんて言ってくれます。かくれんぼして帰った時も、私が見つからなくて、ものすごく心配してくれた時は、「どこ行ってたん？イヤやったで。心配したで」

本当に大人の私が癒されることばかりです。いつも、そんな、彼と一緒に、楽しい時間を過ごしています。心から、ありがとう！

マネージングディレクター 丸岡八千のひとこと

Iさんのお宅のケアは、月に1度のペース。そのため、いろいろな工夫をされているのが、このレポートを読んでもただけるとわかんと思います。1年を超え、順調に長期のご利用となっていっしょのを嬉しく思い、今回、ご登場をお願いいたしました。ありがとうございました！